

「令和7年度 国立大学附属学校振興議員連盟 総会」報告書

副会長 兼 専務理事 美 叡應

| | | |
|-------|--|----------|
| 開催日程 | 令和7年11月6日 (木) 15:00 ~ 16:00 | |
| 開催場所 | 衆議院第一議員会館 地下1階第5会議室 (東京都千代田区永田町2丁目2-1) | |
| 参加者 | 国立大学附属学校振興議員連盟 会長 森 英介 氏、 事務局長 大野 敬太郎 氏 衆議院議員 西村 康稔 氏 (自民) 阿部 知子 氏 (立憲) 源馬 謙太郎 氏 (立憲) 金子 恵美 氏 (立憲) 西岡 秀子 氏 (国民) 福島 伸享 氏 (有志) 代理出席) 石破 茂 氏 (自民) 船田 元 氏 (自民) 斎藤 健 氏 (自民) 石橋 林太郎 氏 (自民) | |
| 文部科学省 | 高等教育局長 合田 哲雄 氏 高等教育局主任大学改革官 小谷 和浩 氏 大臣官房文教施設企画・防災部計画課長 廣田 貢 氏 高等教育局国立大学法人支援課長 村尾 崇 氏 高等教育局専門教育課教員養成企画室長 若林 徹 氏 | |
| | 国立大学附属学校全国同窓会 会長 塩谷 立 氏 全国国立大学附属学校連盟 副理事長 下永田 修二 氏 全附連事務局長 彦坂 秀樹 氏 | |
| | 国立大学法人茨城大学教育学部副学部・附属学校園 統括 毛利 靖 氏 茨城大学教育学部附属幼稚園 園長 斎須 久依 氏 | |
| | 国立大学法人東京学芸大学 教育インキュベーションセンター長 金子 喜宏 氏 東京学芸大学附属竹早小学校 副校長・附属幼稚園竹早園舎 副園長 佐藤 洋平 氏 | |
| | 全附P連 会長 宮本 昌尚、 副会長兼専務理事 美 叡應、 専門委員 吳本 啓郎 | |
| | 他 5 名 (文部科学省・国立大学附属学校関係者) | (計 30 名) |

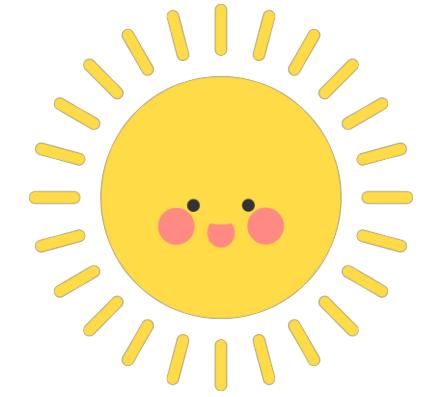


【次第】

1. 開会宣言 大野 敬太郎 氏
2. ご挨拶 下永田 修二 氏
3. 事例発表「附属学校の取り組みについて」
 - 1) 茨城大学教育学部附属幼稚園の取組みについて 毛利 靖 氏
 - 2) 東京学芸大学附属竹早学校区の取組みについて 金子 喜宏 氏
4. 行政説明「附属学校を取り巻く現状について」 斎須 久依 氏
5. 現況説明「昨今の附属学校統廃合の動きについて」 佐藤 洋平 氏
6. 質疑応答・意見交換 若林 徹 氏
7. 所感 美 叡應
8. ご挨拶 (謝辞) 大野 敬太郎 氏
9. 今後の活動予定および閉会宣言 合田 哲雄 氏
- 宮本 昌尚 大野 敬太郎 氏

【所感】

「国立大学附属学校振興議員連盟総会」に参加し、昨今の附属学校統廃合の動きについて現況説明を行った。また、附属学校のグッドプラクティスである2事例の発表が関係者によりなされ、国會議員や文部科学省幹部の皆様と附属学校の意義や魅力、公益性や公共性、そして取り巻く厳しい社会情勢を改めて共有することができた。附属学校の統廃合に関わる活発な意見交換がなされ、その効果検証を求める意見があるなど、附属学校に求められる社会性について理解を深めることができただけでなく、今後の附属学校のあり方を考える貴重な機会となった。



茨城大学附属幼稚園



茨城大学附属幼稚園概要

いばら き だい がく きょう いく がく ぶ ふ そく よう ち えん
茨城大学教育学部附属幼稚園 ようちえんまっぷ

園長・副園長室 おやつ室
職員室 保健コーナー

プレイルーム

といれ といれ 教材室

ロジヤー号 てあらいば てあらいば
すべりだい キャンピングカー

うんてい うんてい

さくらんぼ ひなみずき なしひだい
かき はなみずき なしひだい
ぶどう なしひだい
きんかん なつみかん

かなでいあん めいがる (かえで)
びわ

すなば きうい

てつぼう ごっけいようだい

茨城大学附属幼稚園概要

＜園児数＞

| | | 男子 | 女子 | 合計 |
|----|------|----|----|----|
| 年少 | りす | 5 | 10 | 15 |
| 年中 | うさぎ | 10 | 21 | 31 |
| 年長 | きりん | 10 | 6 | 16 |
| | ぺんぎん | 9 | 7 | 16 |
| 合計 | | 34 | 44 | 78 |

＜教育実習生総受け入れ員数＞

約500名

(教育学部学生、大学生、大学院生、教職大学院生、
特別専攻科、インターンシップ、ほか他園からの研修含む)

附属幼小中特支共通の教育カリキュラム グランドデザイン



令和7年度 茨城大学教育学部附属幼稚園 グランドデザイン



茨城大学スチューデントサクセス
なりたい自分になる

附属学校園で求める子どもの姿
・GDi*2の視点をもって世界的な視野から社会に生きる全ての人々の
幸福を実現するために行動できる人

求められる附属へ

Mission① <研究>

- 研究テーマ「遊びを通して『科学する心』を育む」
- 日常の遊びの充実
 - ・毎日の保育記録・週案・情報共有・保護者との連携
 - ・保育・行事内容の見直し
 - ・全附連幼稚園教育研究集会近畿地区・奈良大会への全員参加、他の附属園視察研修
 - ・全職員参加の日常的なミニ研修を実施し、教師の意識・保育の質の向上

Mission③ <養成>

- 学生・院生の実習の充実
 - ・教育実習
 - ・授業毎（保健体育、音楽、養護実習等）のテーマに沿った保育協力
- 教員研修の拠点校
 - ・県教委との連携「幼児教育担当指導主事等連絡協議会」、初任者研修講座への協力
 - ・リカレント教育や視察の積極的な受け入れ

中：自主・自律・協調

小：個の確立とはらからの精神の両立

幼：豊かな人間理解・社会性の芽生え

- ・基本的な生活習慣・自主性・創造性
- ・望ましい人格の形成

<R7の組織目標>

- ・なれる最高の附属幼稚園
- ・安心と信頼で豊かな保育を支える

【ディプロマポリシー】（修園時）

自身でやり遂げた自信と他者への思いやりをもち、協同的、探究的な活動を展開する幼児

【カリキュラムポリシー】（園生活）

周囲の自然や物・人に心を動かし豊かな体験を重ね、自分で考え判断し行動しようとする幼児 ※学びの芽生え

【アドミッションポリシー】（入園時）

自分の気持ちを表現しながら、興味・関心をもって遊びを楽しむ幼児

Mission② <発信と子育て支援>

- 研究内容の発信
 - ・日本連合教育会全国研究大会茨城大会（8月22日）
 - ・公開研究会（10月29日）
 - ・関附連茨城大会（10月31日）
- 保育や遊びの発信と子育て支援
 - ・ホームページ、保育写真を玄関掲示
 - ・未就園児との交流「なかよしひろば」実施
 - ・「水戸黄門漫遊マラソン」特設ステージ出演

Mission④ <運営の重点はつながる>

- 日常の遊びの充実 教職員がつながる
 - ・朝ミーティングや保育の振り返りの充実
 - ・園児の共通理解と他園との交流
- 保護者への周知の充実 保護者とつながる
 - ・保護者の参加型行事の推進と「ムウくんカフェ」
- 近隣の学校や施設等との連携の充実 外部とつながる
 - ・水戸二中や県立水戸第三高等学校との連携
 - ・ミュージアムパーク茨城県自然博物館等の行政機関との連携

茨城大学教育学部

保護者・後援会

Green
Digital

GDi*2
イバダイ・ビジョン 2030

Global
Diversity

安全・安心

カリキュラム開発センター

地域・社会との連携

R7年度 研究テーマ 遊びを通して『科学する心』を育む

「科学する心」を育むために

- ①自然や動植物に親しみ、不思議さに出会い、感じる心を育む機会をつくる。
- ②遊びの中で「なんでだろう」「もっと知りたい」という思いに共感し、遊びを支える。
- ③もの・こと・ひと・社会とのつながりから遊びを展開し、試行錯誤できる環境を整える。



3歳児クラス

「カマキリとの関わり」から科学する心を育む

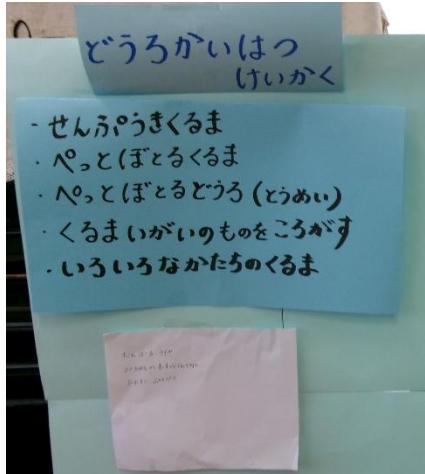


「くるま遊び」から科学する心を育む



4歳児クラス

「空から走る道路」から科学する心を育む



「公園にあるようなシーソー作り」から科学する心を育む



5歳児クラス

「ロケット飛ばし」から科学する心を育む



「色水作り」から科学する心を育む



地域の幼稚園・保育園の支援

茨城県保育協議会・茨城県民間保育協議会(0歳児～就学前の幼児)

茨城県内の幼稚園長・子ども園長を対象とした研修会

茨城県内の民間を含む幼児施設の新規採用管理職及び教員研修講師

市町村立幼稚園の発達障害に係る幼児への園内研修講師、対象児保護者への関わり

幼児教育に関する市町村指導主事研修講師(保育参観を含む開催場所提供)

茨城県自然博物館へ展示の在り方等に関する助言

茨城町外部検討委員としての助言

茨城県教育研究連盟研究集会助言者

つくば市管理職研修講師 等

保育参観や園内研修への
ご参加を
随時受け付けております。

附属小・附属中へとつながる探究学習



GDI2 「イバダイ・ビジョン2030」

茨城大学「イバダイ・ビジョン2030」を、大学だけでなく、附属学校園（幼・小・中・特支）においても実践研究開始。

グリーン・デジタル・グローバル・ダイバーシティを合言葉に、児童生徒一人一人が、問題発見解決学習として探究する、子どもたちの創造性と未来を拓く実践研究をおこなう。



附属幼稚園（ダイナミックな工作）



KIDS
DESIGN
AWARD
2025

茨城大学教育学部
附属学校園の取組が
キッズデザイン賞を
受賞しました。



探究的な学びで国連職員をめざす

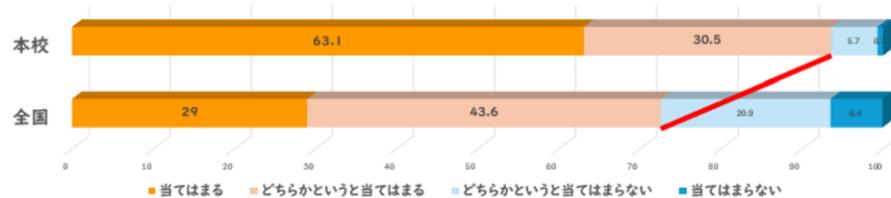


附属小（大人を超える探究で学長表彰）附属中（世界へ羽ばたく探究）
【全国学力学習状況調査(R5)生徒質問紙から】

●総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



一人一人の探究的な学びを
茨城大学の太田学長が称える



「総合的な学習の時間で問題発見解決学習に取り組んでいるか」では、93.6%が回答した。さらに、「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたか」では97.2%が回答し、全国の78.7%を大きく上回っている。



未来の学校
みんなで創ろう。
PROJECT

○教科分断

領域に分断された教科教育研究の体制では、個別最適な学びや教育DX等、総合的で現代的な教育課題に対応する研究の推進が十分に行えない。

○理論と実践の分断

中央教育審議会や大学における理論的で概念的な議論や研究の成果が、各学校現場での実践と十分につながっていない。

○現場の課題感と企業のソリューションの捻じれ

企業は大学や中央教育審議会の標準化された理論や政策にそったソリューションを開発するため、個別の現場の課題に対応できていない。

○データの分散

全国的なビッグデータの分析のみが行われ、教育現場で生成されている個別のデータの活用、分析が進んでいない。

「未来の学校 みんなで創ろうPROJECT」は10年後の学校を3年後に実装することを目標に、東京学芸大学附属竹早学校区を中心に展開されている東京学芸大学教育インキュベーションセンターのプロジェクトです。

研究者と普及者と実践者を一つの共創チームに

○研究、普及、実践を乖離させずに、一つのチームをつくって、実践的に研究開発を進める。

○参加に関して金銭発生させず、参加してもらう(人的ソリューションの提供)こと優先する。

○附属学校で開発したソリューションを公立学校に普及するというやり方ではなく、公立学校と同時多発的に実践研究を行う。

→ 常に、公立学校での展開を意識する。



○大企業・中小企業・スタートアップ・非営利等、多様な40以上の法人が参加

○岩手県山田町教育委員会・岡山県津山市教育委員会・福島県矢祭町教育委員会・宮崎県延岡市の4市町村が参加

○客員准教授4名、共同研究員2名の称号付与

企業も行政も
学校現場も研究者も
一つのチームとして
学校現場の中に入って
学校を創ろう！



未来の学校
みんなで創ろう。
PROJECT

舞台 東京学芸大学附属竹早幼稚園竹早園舎・小学校・中学校
岩手県山田町 ・ 岡山県津山市 ・ 神奈川県葉山町 ・ 福島県矢祭町 ・ 宮崎県延岡市

チーム GROOVE X NECネットエスアイ NPO法人xTReeE エコツツエリア協会 エプソン ケネス コクヨ
ジブラルタ生命保険 ソニーマーケティング 日本文教出版 富士ソフト メント リートン
一般社団法人コペルニク・ジャパン 一般社団法人三菱みらい育成財団 東洋館出版社 FIREBUG
FUNDARD JMC JVCケンウッド Kakedas NDH アフロ カモマン ジョルテ ナディア ナリカ
ポプラ社 リクルート 学研教育みらい 出島プランニング 内田洋行 博報堂 三菱地所
授業研究グローバルサービス 認定特定非営利活動法人Teach For Japan アシスト合同会社

岩手県山田町 ・ 岡山県津山市 ・ 神奈川県葉山町 ・ 福島県矢祭町 ・ 宮崎県延岡市

「未来の学校 みんなで創ろうPROJECT」は10年後の学校を3年後に実装することを目標に、東京学芸大学附属竹早学校区を中心に展開されている東京学芸大学教育インキュベーションセンターのプロジェクトです。

大人
も

好きに、挑む。

学校は「答え」を探す場所でしょうか？

「正解」を教える場所でしょうか？

私たちはこれからの学校が、

「答え」より「好き」を見つけられる場所であってほしいと考えています。

広い世界を自分の足で歩き、自分の目で見つめ、自分だけの「好き」を見つける。

そんな一番星を見つけた子どもたちの、色とりどりの「好き」で溢れる教室があったら、

明日の学校がどんなにワクワクするでしょう。

夢中で「好き」に挑むその熱量は、きっとどんなルールや知識をも超えて、

社会を大きく動かす原動力になると私たちは信じています。

「好き」に挑む人生、明日の学校がその第一歩になりますように。

成果主導型でなく、「好き」駆動型

○明確な成果目標や計画を立てるPDCAサイクルでなく、参加者各人の課題意識を明らかにしながら試行錯誤を繰り返すOODAループで研究開発を進める。

○明確な成果目標でなくプロジェクト全体のビジョンを共有する。

○予算を計上せず、必要な時に必要なリソースや予算を参加者自身が獲得する。

○附属学校でのみ実装可能な最先端のソリューションではなく、公教育への普及可能性を担保して研究開発を進める。



○多様な共創プロジェクトの発生

教室環境・探究的な学びと評価・学校図書館・基礎学力・学校の居心地・キャリア教育・VR/AR・ゲーミフィケーション・教員の魅力

○企業からの多様なリソース提供

5Gレベルのネット環境整備・教室へのICT機器の導入・VRゴーグル・電子書籍システム・AIドリル教材・ゲーム教材等

○学校内共創空間整備

「未来の学校 みんなで創ろうPROJECT」は10年後の学校を3年後に実装することを目標に、東京学芸大学附属竹早学校区を中心に展開されている東京学芸大学教育インキュベーションセンターのプロジェクトです。

大人
も

好きに、挑む。

学校は「答え」を探す場所でしょうか？

「正解」を教える場所でしょうか？

私たちがこれから学ぶべき
「答え」より「好き」を見つける場所が、あってほしいと考えています。
広い世界を自分の足で歩き、自分自身で見つめ、自分だけの「好き」を見つける。
そんな一番星を見つけた子どもたちの、色とりどりの「好き」で溢れる教室があったら、
明日の学校がどんなにワクワクするでしょう。

予算
0円

夢中で「好き」に挑むその熱量は、きっとどんなルールや知識を超えて、

社会を大きく動かす原動力になると私たちは信じています。

「好き」に挑む人生、明日の学校がその第一歩になりますように。

成果主導型でなく、「好き」駆動型

- 明確な成果目標や計画を立てるPDCAサイクルでなく、参加者各人の課題意識を明らかにしながら試行錯誤を繰り返すOODAループで研究開発を進める。
- 明確な成果目標でなくプロジェクト全体のビジョンを共有する。
- 予算を計上せず、必要な時に必要なリソースや予算を参加者自身が獲得する。
- 附属学校でのみ実装可能な最先端のソリューションではなく、公教育への普及可能性を担保して研究開発を進める。



○多様な共創プロジェクトの発生

教室環境・探究的な学びと評価・学校図書館・基礎学力・学校の居心地・キャリア教育・VR/AR・ゲーミフィケーション・教員の魅力

○企業からの多様なリソース提供

5Gレベルのネット環境整備・教室へのICT機器の導入・VRゴーグル・電子書籍システム・AIドリル教材・ゲーム教材等

○学校内共創空間整備

○NTT東日本：小中、各1教室への個別のネットの引き込みとWi-Fi6の導入によるネット環境整備

○PICOジャパン：VRヘッドマウントディスプレイPICO20台

○内田洋行：小学校1室へのICT機器の導入の基盤となる仕組み「SUGOI部屋」機材のアップデート

○SONY：大型ディスプレイレンタル・学校内制作スタジオの機材レンタル Ci Media Cloud

○NEC：教育データのAI分析実施

○FIVE for：VR体験会の実施

○ポプラ社：電子書籍システムの導入

○AFLO：写真データアーカイブの活用

○NTT西日本：VR教材の放映システムの活用

○モノグサ株式会社：AIドリルアプリの活用

○博報堂：ヴィジョン作成・ロゴ作成

○SOLIZE株式会社：VRを活用した理科教材の開発

○JVCケンウッド：Your Live クリエイター向けWEBサービス「QUIET STARS」

○富士ソフト：FAM campus

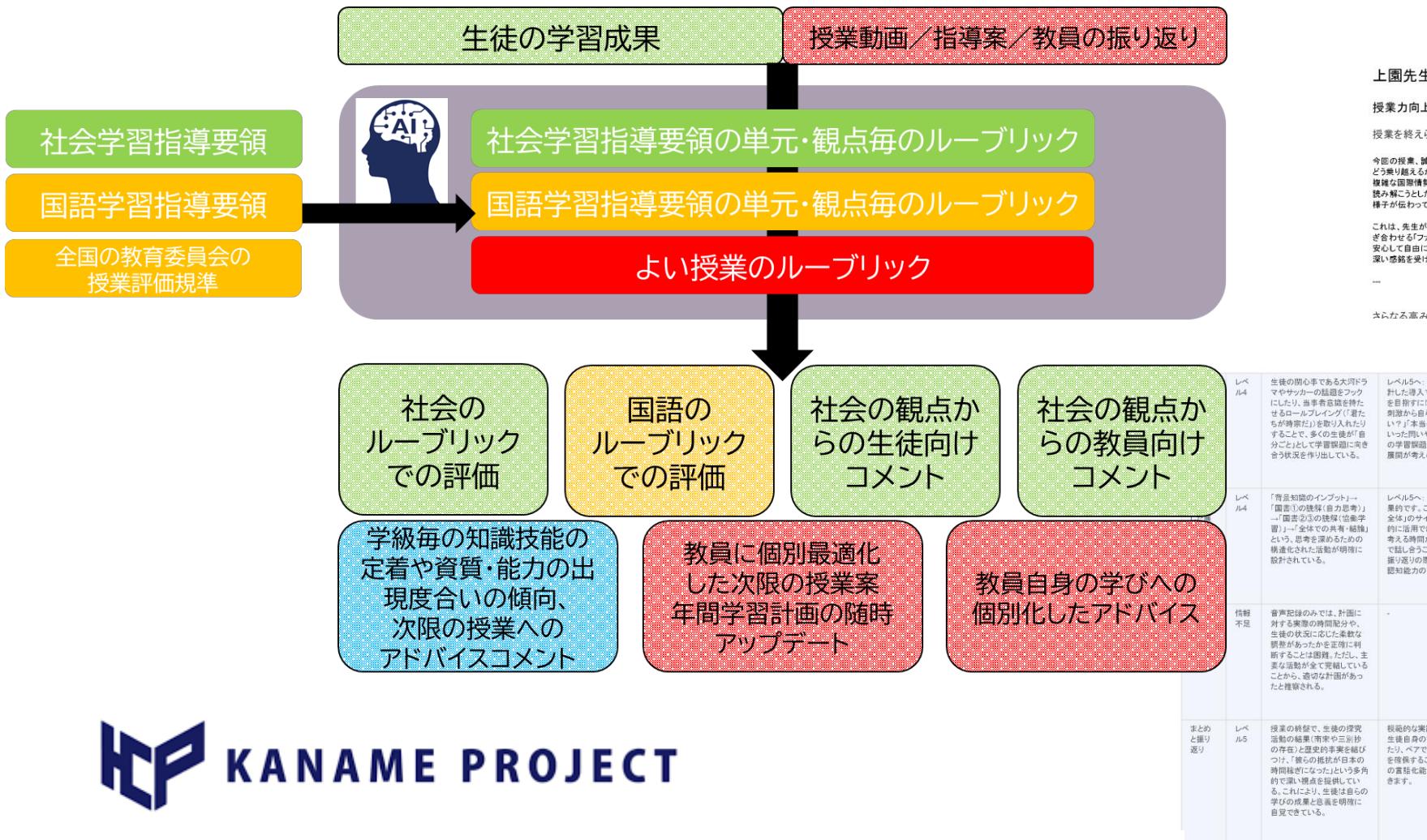
先生方とチームになってくれる人材を出してくださることが一番のリソースの提供

金銭的な
やり取りは
一切なし

先導的な実践研究

AIを活用した授業診断システム

教員の授業力アップのためのAIによる授業評価システム



共創空間開発



PC室をに共創空間にリニューアルしよう！

中学生と教員と
コクヨさんでレイ
アウトや家具の選
定をしました。



展開可能な予算でのICT導入の教室のモデル化

表題

未来の学校プロジェクト 学校と企業の協働による “SUGOI部屋” 協創と活用の取り組み



“SUGOI部屋”一番の特長は壁を埋めつくす巨大スクリーン。圧倒的な情報量を活かしたオンライン授業では、農家さんとの交流を通してフードロス問題に迫り、人権が脅かされている子どもたちが通うタイの学校との交流では経済問題に迫りました。また、GIGAスクール端末を活用し、子どもたちの考えを画面いっぱいに表示して共有する事も可能。最先端の環境を使いながら、投影装置や音響設備、使用するソフト等の使い勝手を企業にフィードバックし、随時アップデートする事で、最先端かつ使いやすい環境での授業提案が続けられています。



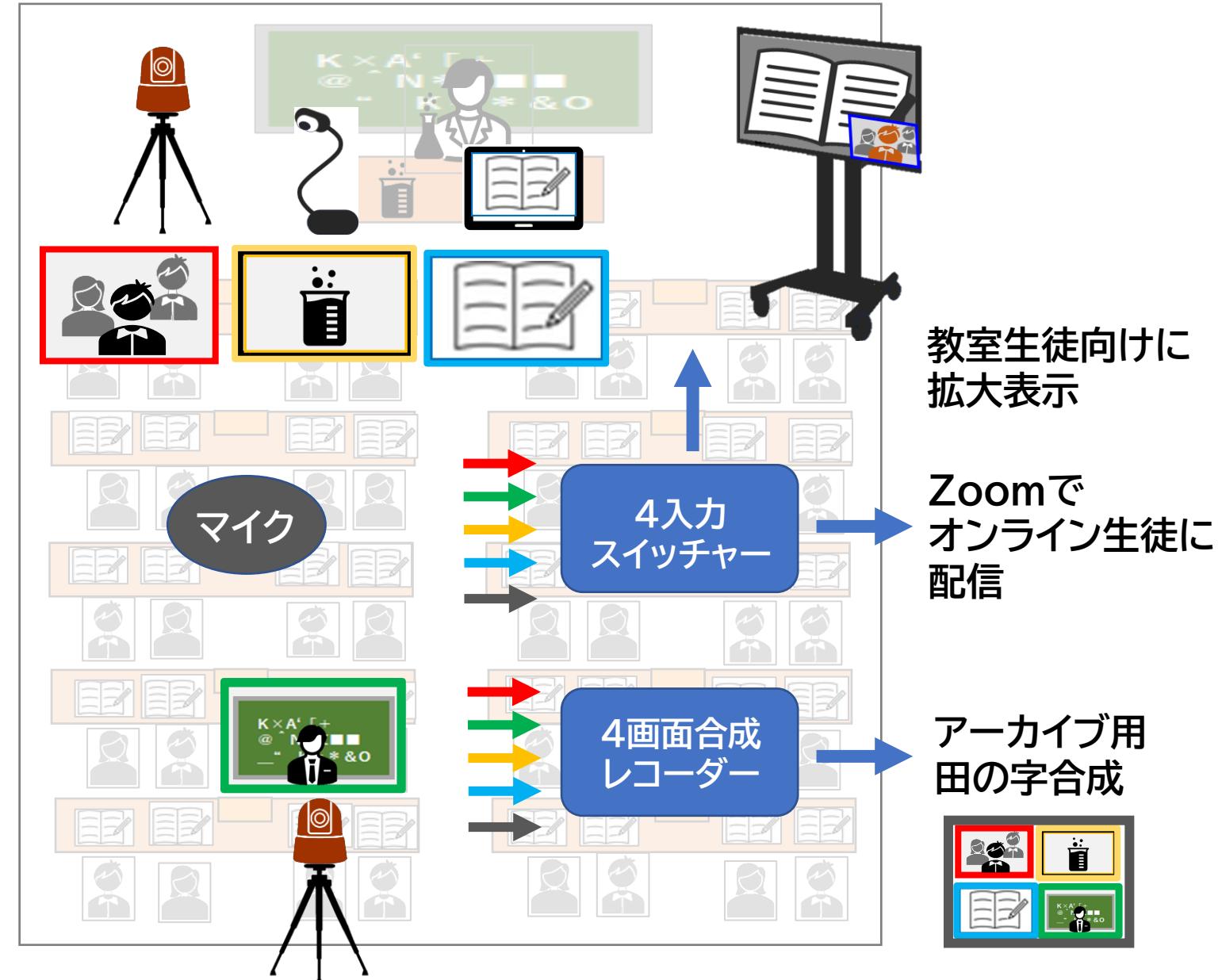
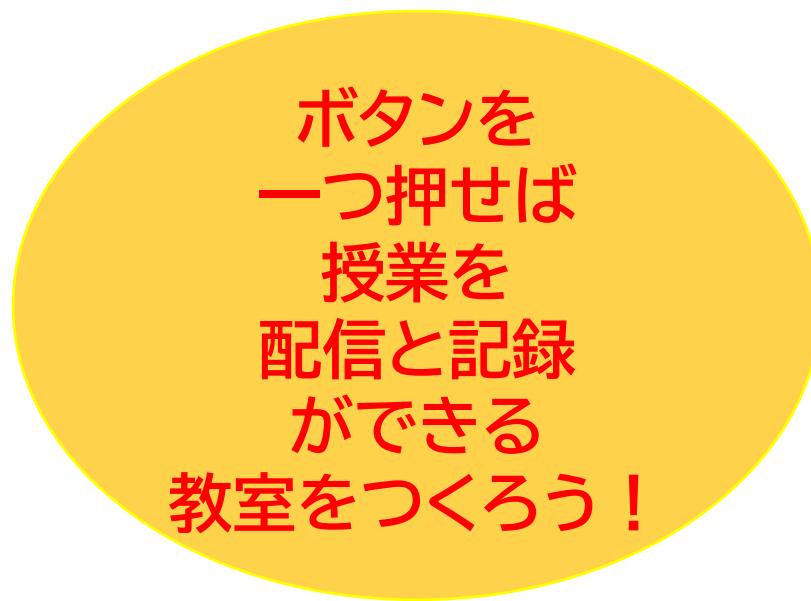
情報活用のための“最先端”かつ“使いやすい環境”をつくる

未来の教室環境&普及可能なパッケージを目指す

授業図書館構想 (教員研修／教員養成)

入力映像/音声

- 1) 教室前方カメラ(生徒)
- 2) 教室後方カメラ(板書/先生)
- 3) 書画カメラ(手元)
- 4) タブレット(ロイロノート・生徒のノート)
- 5) 収音マイク(先生/生徒の声)





竹早中学校 中1理科「状態変化と粒子」金子真也



(問)
3mLの水だけが入ったビニール袋を、98°Cの水と触れ合わせて温度を上げると、ビニール袋はパンパンに膨らむか？

CAM 01

CAM 02

CAM 03

CAM 04

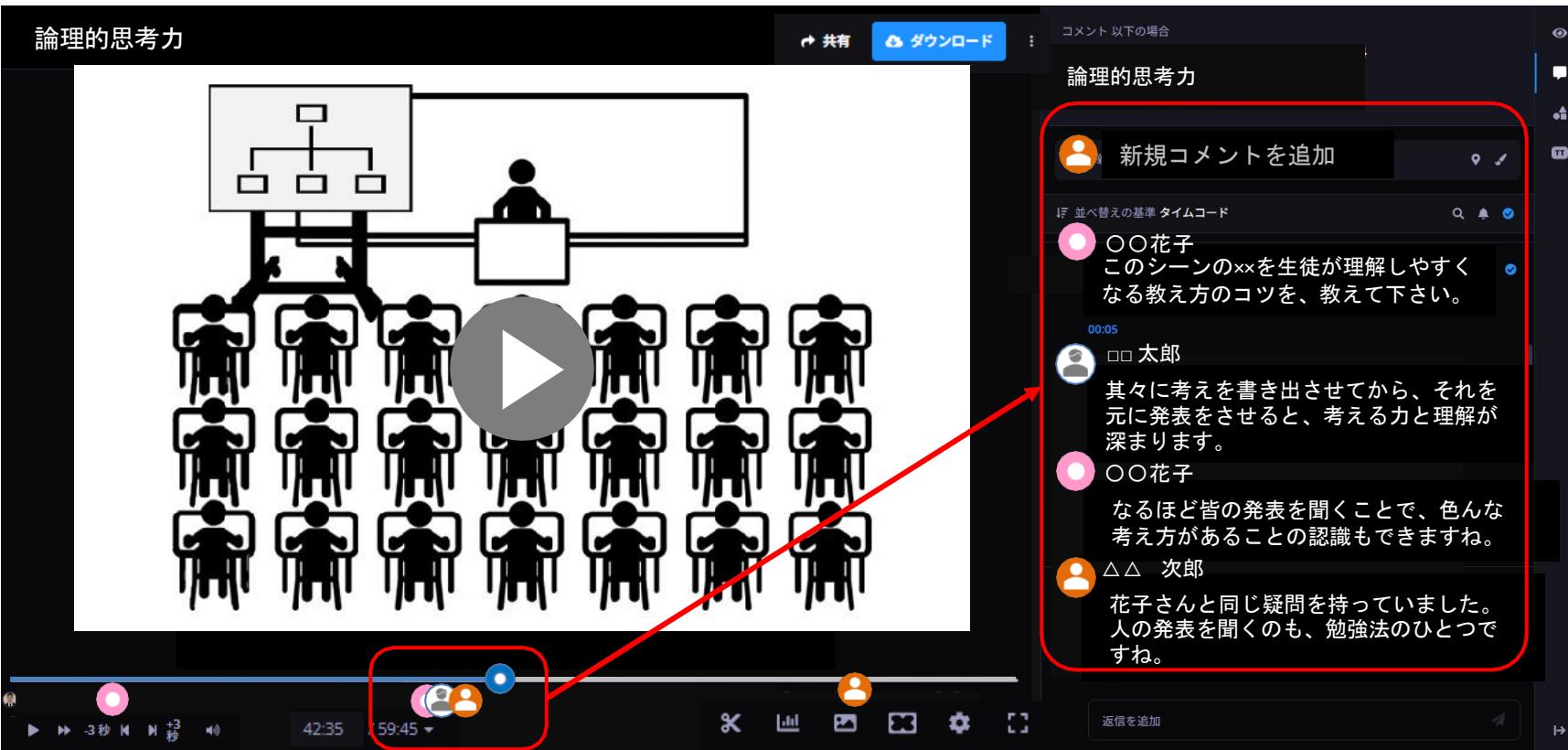
選択中

▶ 0:00 / 52:38

▢ 128 ▢ 1 ▢ 0

見たい画面を
大きくみる！

※ご提案資料として、画面イメージは簡素化してあります



論理的思考力

共有 ダウンロード

コメント 以下の場合

論理的思考力

新規コメントを追加

○○花子 このシーンの××を生徒が理解しやすくなる教え方のコツを、教えて下さい。

○○花子 なるほど皆の発表を聞くことで、色々な考え方があることの認識もできますね。

△△ 次郎 花子さんと同じ疑問を持っていました。人の発表を聞くのも、勉強法のひとつですね。

3秒 42:35 59:45

- 視聴者が、気になったシーンで質問/感想などコメントを記入。
- 授業を実施した教員が、そのシーンでどの様に考えて授業進行をしたか、あるいは質問についての回答などを記入。
- 他のコメントを見て気づきを得たり、視聴者同士での意見交換が可能。

ポイント1

オンデマンドの為、時間/場所を気にせず、都合の良いタイミングで何度でも確認できる。考えを整理してから、コメントができる。

ポイント2

授業全体への意見/感想ではなく、気になったシーンを見ながらコメントのやり取りができる。より具体的な理解ができる！

距離も時間も
属性も年齢も
超えて
授業の協議会を
やろう！



公開研究会でオンライン配信した授業実践を中心とした授業動画を教員研修のプラットフォームにてオンデマンド配信



企業のプロダクト化による公教育への普及

UCHIDA

企業情報 株主・投資家の皆様へ 商品・サービス サポート情報 採用情報

サイトマップ English 検索

01 鴻巣市立鴻巣中央小学校様

02 東京学芸大学附属竹早小学校様

03 帝塚山学院 泉ヶ丘中学校高等学校様

04 兵庫県立姫路商業高等学校様

05 学校法人近江育英会近江高等学校様

06 学校法人日通学園 流通経済大学付属柏高等学校／中学校様



国際中等教育学校 世田谷中学校 特別支援学校 へ展開





メタバース空間でアバターになって道徳対話をしたどうなるだろうか？

スタートアップとの協働 現場教員による企業開拓

教諭先導型スタートアップ連携



東京学芸大学と株式会社SPLYZAが新しい公教育の創造をめざし連携協定を締結

「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」東京学芸大学附属学校園竹早地区で1月より実証実験開始

株式会社SPLYZA 2024年2月20日 11時00分



「スポーツは考える力を育む」をコンセプトに、アプリケーション開発で「スポーツ×教育」の支援を行う株式会社SPLYZA（所在地：静岡県浜松市、代表取締役：土井 寛之、以下「SPLYZA」）と、国立大学法人東京学芸大学（所在地：東京都小金井市、学長：國分 充、以下「東京学芸大学」）は、2023年12月19日（火）に連携協定を締結しました。東京学芸大学が推進する「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」に参画し、1月より東京学芸大学附属学校園竹早地区にて実証実験を開始しました。



【連携協定締結の目的】

本プロジェクトは、誰もが「好きに、挑む」ことができる未来の学校モデルの開発に挑戦していくことを目指しています。Society5.0に向けた新しい学校システム開拓に国立大学法人東京学芸大学を中心に、教員、企業と教育委員会がワントームとなって、挑戦します。

映像監視ツール『SPLYZA Teams』や動作解析アプリ『SPLYZA Motion』を体育の授業内で活用するだけでなく、様々な教育プログラムに展開、東京学芸大学とSPLYZAが相互に協力し新しい公教育を創造していく活動を行います。

【連携・協力内容】

- ・「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」への参加
附属学校等での研究開発・実践に関して相互協力をする

【実証実験にあたり各代表者のコメント】



東京学芸大学附属竹早小学校 体育科
早川光洋氏

これまでの体育授業においても、勝負をとって自分の出来栄えを確認したり、チームの作戦がらまくしているかを確認するなどはしてきましたが、GIGAスクール構想で一人一台端末が実現し、SPLYZA Teamsを活用することで、範囲への網羅性込みや、タグをつけるなどが容易ができるようになりました。また、教師にデータが出たり、クラウドに共有されることで、より客観的に自分、自分たちを振り返りやすくなりました。

さらに、本校は国立大学附属学校として教育実習の受け入れを行っています。教育実習生が行なった授業のフィードバックが特に省略ツールとして有効に活用できるのではないかと期待しています。



株式会社SPLYZA 代表取締役 土井
寛之

この度は、東京学芸大学様と連携協定を締結されたで大変嬉しく思います。
相互に連携・協力する上で、当社ソフトウェア製品の活用を取り入れた授業・教育の新たな可能性を追求するとともに、スポーツや体育自体の教育的価値のさらなる向上を目指して取り組んでいかたいと思います。



【東京学芸大学について】

URL : <http://www.u-nakpus.ac.jp/>

東京学芸大学は、人権を尊重し、すべての人々が共生する社会の建設と世界平和の実現に寄与するため、豊かな人間性と科学的情神に導いた学びの実践の教育研究活動を通して、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む有為の教育者を養成することを目的とします。



【株式会社SPLYZAについて】

URL : <http://www.splyza.jp/>

株式会社SPLYZAは、アプリケーション開発を通して「スポーツ×教育」を支援します。
社会にこれから必要とされる「主体性」や「考える力」をスポーツ・創造性を通じて育むことができると感じてもらえるように、スポーツ×教育的価値のさらなる向上をめざしています。

東京学芸大学×リートンテクノロジーズジャパン、生成AIを活用した学生の学習支援で連携協定を締結

Wrtn Technologies, Inc. 2024年11月6日 17時00分



生成AIプラットフォーム企業、株式会社リートンテクノロジーズジャパン（本社：東京都港区、代表：イ・セヨン、以下「リートン」）は、2024年11月6日（水）に、国立大学法人東京学芸大学（所在地：東京都小金井市、学長：國分 充、以下「東京学芸大学」）と連携協定を締結しました。

今後、東京学芸大学が推進する【未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT】に参画し、リートンが提供する生成AIのサービスを活用した授業の実施などを通して、学生の学習支援に取り組んでまいります。



未来の学校 みんなで創ろう。 PROJECT

■ 連携協定締結の背景と目的

リートンテクノロジーズジャパンは、これまででも学生の学習支援を目的とした教育機関への生成AI導入に関して、教員への研修会や講義の開催や、生徒がリートン提供のAIキャラクターを活用した授業の実施などに取り組んで参りました。

今回の連携協定締結では、東京学芸大学が推進する、教員・企業・教育委員会がワンチームとなって、Society5.0に向けた新しい学校システム創りに挑戦する「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」に参画し、「AIキャラ作成機能」「キャラアバット」など対話型生成AIの機能をはじめとしたサービスを提供することで学生の学習を支援し、本取り組みを通して若年層へのAI活用・理解促進を目指します。今後もリートンは、生成AIのサービスを提供することで、より豊かで快適な生活の実現を提案するとともに、さまざまな取り組みを通して正しいAIの活用方法の普及に尽力しています。



東京学芸大学附属竹早中学校 教諭 中込泰規先生のコメント

AIキャラクターは、生徒の学習グループの一員として、協働的に学習を進める役割を担ってくれると考えています。近年、生成AIを使用した授業実践が盛んに行われていますが、そのほとんどは、生成AIが考え方のヒントを与えたり、生徒が見出した考えを最終的に評価したりするものです。私は、もっと生徒とAIキャラクターがインタラクティブに関わる可能性を探索しています。例えば、複数のAIキャラクターを使用することで、多角的・多面的に物事を捉えながら展開するといったものです。このような実践を通して、生徒は従来よりも多様な考え方や知識を包含し、自らの意思決定が行えるようになることを期待しています。



リートンテクノロジーズジャパン 日本ビジネスマーケティング責任者 増田良平のコメント

リートンのAIキャラは、さまざまな分野での活用が進んでおり、特に教育機関での導入が盛んです。学力的に優れた生徒であっても、人からの批判を恐れずに意見を述べることは難しく、特に中学生や高校生においてはその傾向が顕著です。リートンのAIキャラは、こうした生徒の不安を取り除き、より活発な議論を促進する手助けが可能です。

学芸大学様において先進的なAIキャラの活用が進む中、リートンのAIキャラがさらなる発展を遂げ、多くの方々のお役に立てるこころより願っております。リートンのAIキャラが教育現場において生徒たちの自信を育み、より良い学びの環境を提供できることを期待しています。今後とも、リートンの取り組みにご注目いただけますと幸いです。

企業協働型の公開研究会／イベント

附属竹早校区の公開研究会



未来の学校
みんなで創ろう。
PROJECT

EXPLORATORY GROUND

東京学芸大学竹早地区附属学校園公開研究会 2025 タイムスケジュール 案 V13

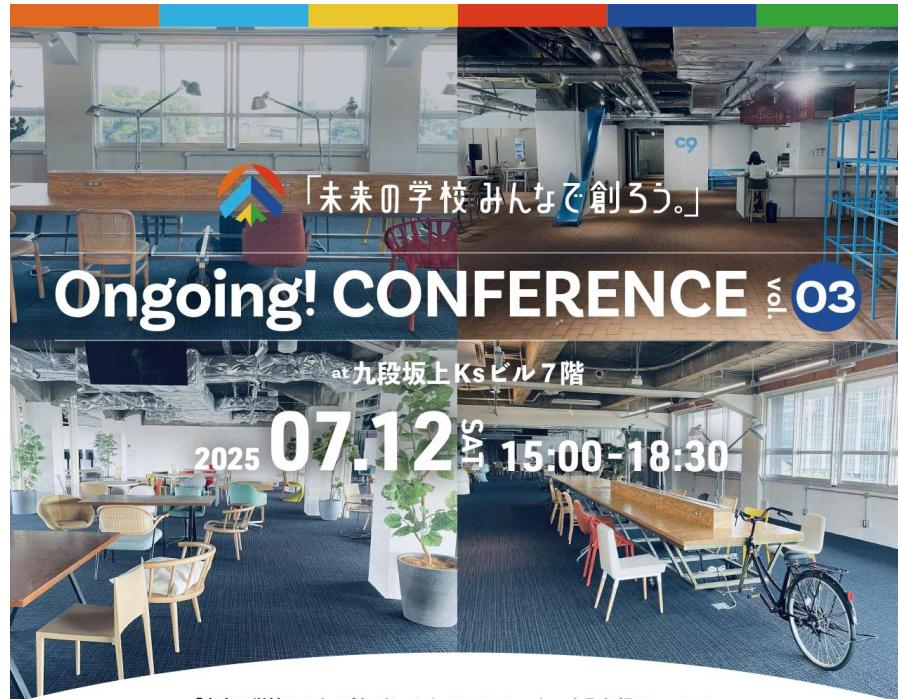
| 協賛企業ブース | 企業ブース展示 | | | | | | | | 中学3階Dルーム マルチアングル配信 | マルチアングル配信 株式会社JVCケンウッド | Online配信 | QRコード | |
|------------------------------------|---|--|---|--|--|--|--|--|---|---|--|--|--|
| | 小3-2 国語科 高須みどり ことばの世界を旅し よう ~詩の言葉・友達の 言葉・自分の言葉~ | 小5-1 社会科 米農家の一年 「～Online配信～」 SUGOI部屋 | 幼稚園5歳 阿部かほり 「友達と考えを出し合 って遊ぶ」 | 中1C 数学科 福嶋卓海 「～グラフの特徴～」 Online配信 | 小6-2 理科 金田知之 「発電しよう」 | 小4-1 音楽科 大内絵理香 「筝の魅力にせま ろう～音楽づくりを 通して～」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | | | | | |
| 公開枠1 9:00 ~ 9: 45/50 | 小3-2 国語科 高須みどり ことばの世界を旅し よう ~詩の言葉・友達の 言葉・自分の言葉~ | 小5-1 社会科 米農家の一年 「～Online配信～」 SUGOI部屋 | 幼稚園5歳 阿部かほり 「友達と考えを出し合 って遊ぶ」 | 中1C 数学科 福嶋卓海 「～グラフの特徴～」 Online配信 | 小6-2 理科 金田知之 「発電しよう」 | 小4-1 音楽科 大内絵理香 「筝の魅力にせま ろう～音楽づくりを 通して～」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | |
| 公開枠2 10:05 ~ 10: 50/55 | 中2A 国語科 堀内 泰 「～Online配信～」 SUGOI部屋 | 小5-2 社会科 桐川徹 「日本の食料生産」 | 中3B 道徳科 中川千香子 WRAP:「希望の感覚」 | 幼稚園5歳 阿部かほり 「友達と考えを出し合 って遊ぶ」 | 小6-1 算数科 山田剛史 「～グラフの特徴～」 Online配信 | 中1D 理科 北田 健 「身の回りの現象」 | 中2B 音楽科 中野未穂 「音でつながる」 | 小2-2 図工 桐山卓也 「アート造形」 | 小5-1 体育 早川光洋 「三角ゴールハンド」 | 研究発表 養護協議会 東京学芸大学 朝倉 隆司 教授 (田岡朋子・塚越潤) | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 | 中3D 保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 |
| 協議会 11:10 ~ 12:30 | 中 国語科協議会 (堀内 泰) 「主体的に作品の魅力 に迫る『読む領域』の授 業づくり」 元広島女学院大学 植西浩一 教授 | 小 国語科協議会 (高須みどり) 文教大学 藤森 祐治 教授 | ゲーミフィケーション 協議会 (山野敬弘) Online配信 | 中 道徳科協議会 (中川千香子) | 幼稚園協議会 (町田理恵・八木垂弥 子・阿部かほり) 「デジタル記録を活用した 保育実践」 | 小中 算数科・数学 山田剛史 (山田剛史・福嶋卓海) 東京学芸大学 中村 極一 教授 | 小中 理科協議会 (山田剛史・北田 健) 東京学芸大学 中村 極一 教授 | 小中 音楽科協議会 (大内絵理香・中野未 穂) 琉球大学 徳富健治 准教授 | 小 図工協議会 (桐山卓也) 東京造形大学 小林 貴史教授 | 小中保健体育科協議会 (早川光洋・齋藤貴博) 筑波大学附属中学校 秋山 和輝 教諭 玉川大学教育学部 久保 賢太郎 講師 | 中3C家庭科 神澤志乃 「家庭科x理科」 東京学芸大学 塚崎 舞 講師 | 中3C家庭科 神澤志乃 「家庭科x理科」 東京学芸大学 塚崎 舞 講師 | 中3C家庭科 神澤志乃 「家庭科x理科」 東京学芸大学 塚崎 舞 講師 |
| 食事 | 中1階 国語室 | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 昼食 12:30 ~ 13:40 | ※昼食は基本的に午前の協議会の会場をご利用ください ※【食事】となっている場合は、小学1階 ランチルームをご利用ください。 | | | | | | | | 小学1階 玄関ロビーにて | | | | |
| 公開枠3 13:40 ~ 14: 25/30 | 小1-2 国語科 曾根朋之 「今こそ名作を読み 深めよう～昔話『桃太郎』～」 Online配信 | 中1A 技術科 岡崎 靖 「材料と加工の技術に よる問題解決」 | 中1D 社会科 内藤圭太 地理的分野 「世界の諸地図」 Online配信 | 小1 道徳・総合(1) (2) 研究発表・ワークショ ップ・協議会 「メタバースの教育的 活用」 (幸版創平・中村亮太) 東京学芸大学 松尾 直博 教授 | 中1B 英語科 松津英恵 「Unit 7 An Online Tour of the U.K.」 | 小4-2 算数科 鈴木 侑 「データの活用」 | 研究発表 キャリアカウンセリング 「教員の心とキャリアを支 えるキャリアカウンセリン グ～新しい支援の効果と 可能性～」 (NPO法人xTReE 代表理事 北川雄久) | 研究発表 「生成AIの活用と 教育評価」 (上園 悅史) | 研究発表 「メタバース空間を活用し た大学生との鑑賞活動 (実践報告)」 (杉坂洋嗣) | 研究発表 「セストボール」 (原田雄太) | 中2D 理科 中込泰規 「理科x家庭科～生成 AIと考えこころからの 環境問題～」 Online配信 | 中2D 理科 中込泰規 「理科x家庭科～生成 AIと考えこころからの 環境問題～」 Online配信 | 中2D 理科 中込泰規 「理科x家庭科～生成 AIと考えこころからの 環境問題～」 Online配信 |
| 協議会発表会 14:45 ~ 16:25 | 小 国語科協議会 (曾根朋之) 「これから求められる 技術教育について」 茅野 敦 教授 | 中 技術科協議会 (岡崎 靖) 「これから求められる 技術教育について」 茅野 敦 教授 | 小中 社会科協議会 (恒川徹, 内藤圭太) 東京学芸大学 日下 伸也 准教授 Online配信 | 中 英語科協議会 (松津英恵) 東京学芸大学 高山芳樹 教授 | 研究発表 「ハイフレックス授業や 授業アーカイブから考 える未来の授業研究」 (金子 真也) | 研究発表 「VR 体験 「デジタルポータフォリオ の利活用」 (桐山卓也・杉坂洋嗣) 東京造形大学 山田猛 教授 | 研究発表 「小 体育科 協議会 (原田雄太) 東京学芸大学 鈴木 聰 教授 | 研究発表 「小 体育科 協議会 (原田雄太) 東京学芸大学 鈴木 聰 教授 | 研究発表 「中 理科+家庭科 協議会 (中込泰規, 神澤志乃) 宮崎 大輔 講師 東京学芸大学 渡辺 理文 准教授 | 中2D 理科 中込泰規 「理科x家庭科～生成 AIと考えこころからの 環境問題～」 Online配信 | 中2D 理科 中込泰規 「理科x家庭科～生成 AIと考えこころからの 環境問題～」 Online配信 | 中2D 理科 中込泰規 「理科x家庭科～生成 AIと考えこころからの 環境問題～」 Online配信 | |

現場の教員が
500人以上
参加！

企業連携の授業と協議会と
研究成果発表

【協賛・ブース出展】

日本文教出版株式会社
株式会社内田洋行
株式会社JVCケンウッド
エプソン販売株式会社
株式会社ポップラ社
ソニーマーケティング株式会社
株式会社ナリカ
株式会社 東洋館出版社
株式会社ジョルテ



「未来の学校みんなで創ろう」としている Ongoing な取り組みについて、
実践者達が一同に集い・語り、さらなる一步を踏み出すためのイベントです。
第3回となる今回の会場は九段下！武道館が真横に見え、元大学校舎をリノベーションした会場です。
飲食の持ち寄り大歓迎です！
インプットからネットワーキングまで、ぜひご活用ください。

Agenda 内容

• Ongoing! Presentation (15分づつ)

| Presenter | |
|--------------|----------------|
| ・北海道教育大学 | ・東京学芸大学附属竹早小学校 |
| ・株式会社IRODORI | ・茨城県立鉢田第一高等学校 |
| ・渋谷区立神南小学校 | |

• AFTER PARTY !

※参加費は無料です。※飲食の持ち込みをお願いします。

Location 開催場所

九段坂上 Ksビル 7階
東京都千代田区九段北 1-14-6
▶ 九段下駅徒歩 5分
▶ 14:30 から開場いたします

Host 主催

国立大学法人東京学芸大学
未来の学校みんなで創ろう。PROJECT

ご参加のお申し込みはこちらから <https://ongoin-conference-202507.peatix.com/>



7月12日 15時～
リクルート九段オフィス

日本中の
学校改革の
アイディアを
共有しよう！

#1 茨城県立鉢田第一高等学校 GSNPチーム(School Warriors)様
「相談しやすい世の中へ～心理的安心性を高めるためのアプローチ～」

#2 茨城県立鉢田第一高等学校 GSNPチーム(みんなを助け隊)様
「居場所づくりのサポート～子どもたちが生き生きと輝くために～」

#3 北海道教育大学 未来の学び協創研究センター 佐藤 正範様
「変わるぞ！教員養成系大学の「学び」の現在地 -産学官連携による試される大地の先端教育事例-」

#4 株式会社IRODORI 代表取締役 取締役 谷津 孝啓 様／永井 彩華 様
「DXハイスクールで変化した地方で暮らす高校生の意識～MIT AppInventorを活用した総合的な探究の時間～」

#5 東京学芸大学附属竹早小学校 主幹教諭 山田 剛史 様
「風通しのよい学校づくり」

#6 渋谷区立神南小学校 主幹教諭 鍋谷 正尉 様
「公立小学校の現在地と目指すべき未来～新しい学びから校務DXまで～」



<https://ongoin-conference-202507.peatix.com/>

附属で生成されるデータの収集と分析による
データ駆動型研究／教育実習

導入の必要性

令和7年6月6日の経済財政運営と改革の基本方針2025（原案）において、こどもたちの個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現に向け、生成AI活用を含む教育DXの加速が示されるなど、すべての子どもが「質の高く深い学び」を実現できるよう、一人ひとりの理解度や関心に応じた柔軟な学習支援が求められていることから、AIを中心とした先端技術を教育現場に実装し、教職員の業務の効率化・適正化を図りながら、現代的な教育課題に対応していくことが求められている。

設備の概要

SUGOI部屋

大型スクリーンと複数のプロジェクターによる多画面表示
マイク・カメラ・スピーカー一体型機器
授業の録画や配信、外部とのオンライン交流



先端性・先導性のある教員養成の実現のためのAIなどの先端技術による分析・評価

さらなる先端性・先導性を生み出すためのAIなどの先端技術による分析・評価

AI等の先端技術を活用した分析・評価システム

大学内でのAIによる教育・学習データを分析・評価するシステム

体育館、校庭等における通信基盤整備

校内のネットワーク環境整備
教育のICT化に資する基盤の充実

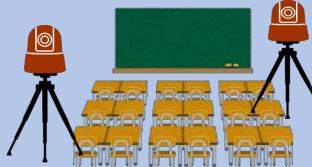


先端技術が導入された教室における教育実習

先端技術が導入された教室での先導的な教育実践

自動授業記録システム

授業の様子を自動的に記録し教育データを生成



データ駆動型・循環型の教育研究

先導的な教育実践で生成される教育データの先端技術での収集

教育実習で生成される教育データの先端技術での収集

効果

- ・本学附属学校の大学との連携研究の拠点としての機能強化、附属学校教員の研究能力向上
- ・現代的な教育課題に対応する実効性の高いソリューションが公立学校等に普及
- ・学校教育の変革に対応した教員養成高度化の推進

次世代の教育界を牽引できる資質・能力を備えた教育者の確保に寄与

戦略的実践研究の推進のための大学内での組織化
と
全附属での実践研究の推進

「未来の学校みんなで創ろう。PROJECT」の大学内附属への展開 大学内にコーディネート機能の組織を設置

